

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	演劇	種目	ミュージカル	
	応募区分	一般区分			
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	ゆうげんがいしやしょーまんしつ		
	制作団体名	有限会社ショーマンシップ		
	代表者職・氏名	代表取締役・仲谷一志		団体ウェブサイトURL <a href="https://www.showman.jp/">https://www.showman.jp/</a>
	制作団体所在地	〒 810-0063	最寄駅(バス停)	福岡市地下鉄・唐人町駅
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	げきだんしょーまんしつ		
	公演団体名	劇団ショーマンシップ		
	代表者職・氏名	座長・仲谷一志		団体ウェブサイトURL <a href="https://www.showman.jp/">https://www.showman.jp/</a>
	公演団体所在地	〒 810-0063	最寄駅(バス停)	福岡市地下鉄・唐人町駅
	制作団体 設立年月	1994年10月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表取締役 仲谷一志 取締役 市岡洋・生田晃二 企画制作部長 宮崎果林	役員:3名 制作スタッフ5名 役者15名 【加入条件】毎年オーデションを行い、劇団理念に適合する優秀な人材のみ加入可能。	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	宮崎 果林
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	田村真理
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス <a href="mailto:info@showman.jp">info@showman.jp</a>	電話番号 0927163175	

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>平成 6年10月 「劇団ショーマンシップ」設立。</p> <p>平成11年 2月 「有限会社ショーマンシップ」として法人化。</p> <p>平成12年 4月 「唐人町商店街(福岡市中央区)」に拠点を移し「甘棠館Show劇場(客席84席)」の運営を始める。</p> <p>平成16年 4月 「日本児童・青少年演劇劇団協同組合」に加盟。</p> <p>平成21年 4月 「ユメニティのおがた(福岡県直方市)」とレジデンスカンパニー契約を結ぶ。 毎年、劇場公演・直方市内の小学校でのアウトリーチ事業を始める。(継続中)</p> <p>平成26年12月 創立20周年記念公演「亀井南冥伝～金印の謎を生んだ男～」を博多座にて公演。</p> <p>令和元年 12月 創立25周年記念公演「THE NIWAKA～博多の町の芸處～」を博多座にて公演。</p> <p>令和 2年 2月 「ないた赤おに」の脚本を日本語と英語で織り交ぜた作品「The Red Monster Cried」を甘棠館Show劇場にて公演。</p> <p>令和 2年 3月 「福岡市民文化活動功労賞」受賞。</p> <p>令和 3年 4月 「あしや夢リアホール(遠賀郡芦屋町)」の運営を芦屋町より委託される。</p> <p>令和 4年 2月 「ないた赤おに」を完全英語版とした「The Red Monster Cried」を甘棠館Show劇場にて公演。</p> <p>令和 6年 3月 「福岡県文化賞」受賞。</p> <p>令和 6年12月 創立30周年記念公演「やっぱり利兵衛～せいもん払いを始めた男、八尋利兵衛伝～」を博多座にて公演。</p>
	学校等における公演実績	<p>平成14年度より学校公演実績あり 累計 約800公演 (直近)</p> <p>令和元年度 「ノートルダム物語」4校 「生きろ！～十五少年漂流記より～」11校 「ないた赤おに」19校 「砂漠の王子の冒険」5校 「インプロシヨー」2校 計:41公演</p> <p>令和2年度「ノートルダム物語」1校 「ないた赤おに」6校 「砂漠の王子の冒険」1校 計:8公演</p> <p>令和3年度「ノートルダム物語」14校 「生きろ！～十五少年漂流記より～」5校 「ないた赤おに」23校 計:42公演</p> <p>令和4年度「ノートルダム物語」20校 「生きろ！～十五少年漂流記より～」6校 「ないた赤おに」5校 「The Red Monster Cried」5校 計:36公演</p> <p>令和5年度「ノートルダム物語」20校 「生きろ！～十五少年漂流記より～」2校 「ないた赤おに」19校 「The Red Monster Cried」3校 「砂漠の王子の冒険」20校 「大正くるま浪漫」2校 計:66公演</p> <p>令和6年度「ノートルダム物語」26校 「生きろ！～十五少年漂流記より～」1校 「ないた赤おに」33校 「砂漠の王子の冒険」4校 「トマトくんのありがとう」5校 計:69公演</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>平成18年度 「ないた赤おに」 福岡県立筑後特別支援学校</p> <p>平成19年度 「なりきりオウムとはりきりサーカス団」 福岡県立田主丸特別支援学校</p> <p>平成20年度 「なりきりオウムとはりきりサーカス団」 福岡県立川崎養護学校</p> <p>平成21年度 「ないた赤おに」 福岡県立小郡特別支援学校</p> <p>平成21年度 「ないた赤おに」 福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」</p> <p>平成22年度 「笑劇！黒田騒動」 特別支援学校「北九州高等学園」</p> <p>平成23年度 「ノートルダム物語」 大分県立宇佐支援学校</p> <p>平成24年度 「ノートルダム物語」 滋賀県立草津養護学校</p> <p>平成24年度 「ノートルダム物語」 三重県立聾学校</p> <p>平成26年度 「ないた赤おに」 福岡県立直方養護学校</p> <p>平成30年度 「ないた赤おに」 福岡県立小郡特別支援学校</p> <p>令和 元年度「ないた赤おに」福岡県立南福岡特別支援学校</p> <p>令和4年度「ないた赤おに」兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校</p> <p>令和5年度「ないた赤おに」福岡市立福岡中央特別支援学校 「ないた赤おに」鹿児島県立串木野特別支援学校</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/GU-dU_H6XL0">https://youtu.be/GU-dU_H6XL0</a>
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID: PW:

別添

なし

【公演団体名】

劇団ショーマンシップ

】

<b>対象</b>	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
<b>企画名</b>	現代の子供たちへ伝えたい！世界名作劇場「ノートルダム物語」			
<b>企画のねらい</b>	ヴィクトル・ユゴーの原作「ノートルダム・ド・パリ」の不条理さをしっかりと伝え、その上で「生きる希望の物語」「小さな勇気」を持つことが自分を変える事に繋がる物語に脚色。戦いや争いでは、決して平和を守れない事を物語から訴えると共に、「他者への思いやり」「生命の尊重」「人権尊重の心」「正義感や倫理観」など、現代の子どもの今日的課題を、演劇を通して深く子どもたちに感じさせ、解決に繋がる事を狙う。			
<b>演目概要・演目選択理由</b>	本作は体育館が劇場になる本格的な舞台装置、時代背景を踏まえた衣装・小道具と視覚的にも優れ、調和の取れた総合芸術作品である。主人公「カジモド」を通して「生きる力」「思いやりの心」「自分を信じる力と勇気」を育むことの出来得る作品であり、同時に「笑い」と「涙」と「感動」という舞台の魅力を堪能できる作品である。また歌、踊り、大道芸などのパフォーマンスは『生身の人間が修練を重ね努力した結果』であることは十分伝わり、そこからの学びは、将来を担う子どもたちに努力の価値を伝えることに繋がる。本作の鑑賞、共演及びワークショップ参加は、子供たちの豊かな感性を育み、芸術鑑賞能力を高める事に繋がると確信している。			
<b>児童・生徒の参加または体験の形態</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公が困難に直面したシーンで、乗り越えなければいけない「心の壁」を児童生徒全員の歌で応援。(歌「勇気！自信！」)</li> <li>ワークショップと当日のリハーサルを経て、俳優と同じように衣装・メイクをして本番に出演。出演者は1名～8名。</li> <li>「街の観客」「ロマ」役など、主に子供たちが笑顔になるシーン。</li> <li>物語のハッピーエンドを出演者、生徒、先生、全員の歌で讃える。</li> </ul> <p>ワークショップで歌唱指導を行い本番はフィナーレで大合唱。(歌「ノートルダム」)</p>			
<b>児童・生徒の参加可能人数</b>	<b>本公演</b>	<b>参加・体験人數目安</b>	1人～8人	
		<b>鑑賞人數目安</b>	～500人	
<b>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</b>	<p>■演目：ノートルダム物語 ■原作：ヴィクトル・ユゴー      ■脚色・演出：市岡洋      ■音楽：山浦弘志      ■振付：近藤勇人 ■パントマイムコーディネート：TEN-SHO      『あらすじ』      その容姿の醜さゆえ「カジモド(神のいたずら)」と名付けられた、ノートルダム大聖堂の鐘撞き男。彼はある時、ロマの踊り子エスマーラルダに出逢い、恋心を抱く。そんな折、カジモドの育ての親である将官ジェハンが「町の治安を脅かすロマたちを全て捕らえてしまえ！」と部隊長フィーバスに命じるのだった。悩むカジモド。なぜなら彼もロマの血を引いていたのだった。      兵士達から追われ、ノートルダム大聖堂に逃げ込んだエスマーラルダを助け、匿うカジモド。      ついにカジモドは、ロマたちと共にジェハンに立ち向かうことを決意する。      その時、彼の出生の秘密が明かされる。そして、奇跡が起こる！  </p>			
	<b>公演時間</b>	100	<b>分</b>	
<b>出演者</b>	カジモド:仁木祥太郎 エスマーラルダ:ソフィア アルセーヌ:東沙耶香 ジェハン:福澤究 フィーバス:武東亜斗夢 兵士:片山涼平、前田繁之、戸上竜太 司教:寺崎索 クロビン:山口泰弘 ロマ:田中耀大、安富大吾、吉永琥太郎、屋宜菜々子、久保美月、高橋希海			
<b>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</b>	<b>脚色・演出:市岡洋</b> :俳優として、3,000ステージを超える舞台と多数のTVドラマ、CM等に出演。劇作・演出に転向し、劇団ショーマンシップの旗揚げに参加。自ら「児童劇団パワーキッズ」を主宰。児童演劇作品は40作品以上、脚本・演出で創り上げている。 <b>パントマイムコーディネーター:TEN-SHO</b> :劇団「汎マイム工房」で活躍後、1987年イタリア・フランスにて海外公演実施。1999年大道芸ワールドカップin静岡において、JAPAN CUP CHAMPIONを獲得。全国の各種イベント、TV、映画出演の他にも、様々なジャンルのステージ公演などで幅広く活躍中。 <b>主演「カジモド」役:仁木祥太郎</b> :新国立劇場演劇研修所(14期生)を卒業後は「ジャンヌ・ダルク」「星の王子様」他、数多くの舞台で活躍。			
<b>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む</b>	出演者: 16 名 スタッフ: 5 名 合 計: 21 名	<b>運搬</b>	積載量: 3 t 車 長: 7.2 m 台 数: 1 台	

本公司 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度						
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去							
	8:30	9:00～13:00	13:30～15:10	0	15:30～17:00							
※本公司演時間の目安は、概ね2時限分程度です。												
本公司 実施可能日数 目安  ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月	8月		9月						
						10日						
	10月		11月	12月		1月						
	21日		10日	0日		14日						
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	55日							
本公司 ・ワークショ ップの内 容	 <p>舞台の設置状態。 体育館のフロアにセットを組みます。 舞台設置に必要な面積 横:13m以上 奥行:8m以上</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;"> <p>【参考資料】</p> <p>体育館舞台設営の様子</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;">  </div> </div>											
	 											
	 											
	<p>(みどころ)</p> <p>2005年より19年間、多くの児童・生徒に感動を生んだ本作。 児童・生徒が興味を持って鑑賞できるよう、耳に残るオリジナルの楽曲を修練を重ねた俳優たちが歌い、踊る、熱い作品である。劇中のロマのシーンでは、専門性の高い大道芸を披露する。</p>											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">各種上演権、使用権等の許諾手続の要否</th> <th style="width: 25%;">該当なし</th> <th style="width: 25%;">該当コンテンツ名</th> <th style="width: 25%;"> </th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当事項がある場合</td> <td>権利者名</td> <td> </td> <td>許諾確認状況</td> </tr> </tbody> </table>					各種上演権、使用権等の許諾手続の要否	該当なし	該当コンテンツ名		該当事項がある場合	権利者名	
各種上演権、使用権等の許諾手続の要否	該当なし	該当コンテンツ名										
該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況									
<p>※A4判3枚以内に収まるように作成してください。</p>												

別添

なし

【公演団体名 創劇ショーマンシップ】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p>ワークショップでは児童・生徒の好奇心を育み、コミュニケーション能力を高めることを目的とする。「児童・生徒」と「先生」が何を求めているかの声を聞き、実施する学校ごとにワークを組み立てていく。作品の説明や時代背景の説明も子供の声を聞きながら進行し、楽しく学習し、本番に向けて「観る」意識を高めていく。パントマイムを体験することは、新しいことにチャレンジするという意欲を持たせ、向上心を高めながらも創作の喜びも体感させる。更に全校児童・生徒で主人公を応援する歌「勇気！自信！」、フィナーレで歌う「ノートルダム」を練習し、本番で合唱することで、一緒に舞台を創り上げ「感動の共有体験」をする。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	～300人
	<p>標準90分(10分休憩あり) ※学校の状況に合わせて、時間は変更可能。</p> <p>①『心と身体の準備体操』 コミュニケーションゲームを行い、児童・生徒の心と身体の緊張をほぐしながら「正しい答え」をみつけるのではなく、何が面白いのかを発見することへ導いていく。</p> <p>②『作品紹介』 脚本・演出家の市岡による作品紹介。 写真やパネル、プロジェクターを使って作品の時代背景などを、わかり易く説明。 一方通行にならないように、補助者が児童・生徒の声を広いながら進行していく。</p> <p>③『参加シーンの稽古』 主人公を応援する歌とフィナーレの歌を指導のもと、全児童・生徒で合唱。 ※ワークショップ後も昼休みの校内放送や音楽の時間などでの練習を学校側に依頼。 (事前に学校側へ、CD・楽譜・歌詞カードを渡す。)</p> <p>④『パントマイムにチャレンジ』 本公司のパントマイムコーディネートを行ったTEN-SHOが指導。TEN-SHO本人はこの指導を『ノンバーバル』で行う。 そこから生まれる子ども達との信頼関係と、ファシリテートをしながらのパフォーマンスは唯一無二であり、全国の学校で大好評の本ワークの目玉である。</p>			
				
その他ワークショップに関する特記事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加児童が多い場合 先生と話し合いの上、2回実施をするなど、児童生徒さんがのびのびと実施できるようにする。</li> <li>・特別支援学校で実施する場合 先生と綿密に打ち合わせを行い、内容を一部変更するなど、児童生徒さんが負担に思うことなく実施できるようにする。</li> </ul>			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

## 一般区分・特別エリア区分共通

No.4(共通)

別添

なし

【公演団体名】 創団ショーマンシップ】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。				
	任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。				
	詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただることになります。				
	なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。				

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	条件なし	主幹引き込み電源容量	60 A以上	
	舞台設置面積	間口 高さ	13 m 指定なし	奥行 m	8 m
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	1.8 m
	遮光の要否	7割程度必要	縦幕の要否	不要	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定	ピアノを使用しない場合の移動の要否	条件なし
	搬入車両(トラック等)の横づけ	必須	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	指定なし	m以内
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	1 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.4 m	車長	7.2 m
	備考				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否				
	要				
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)				

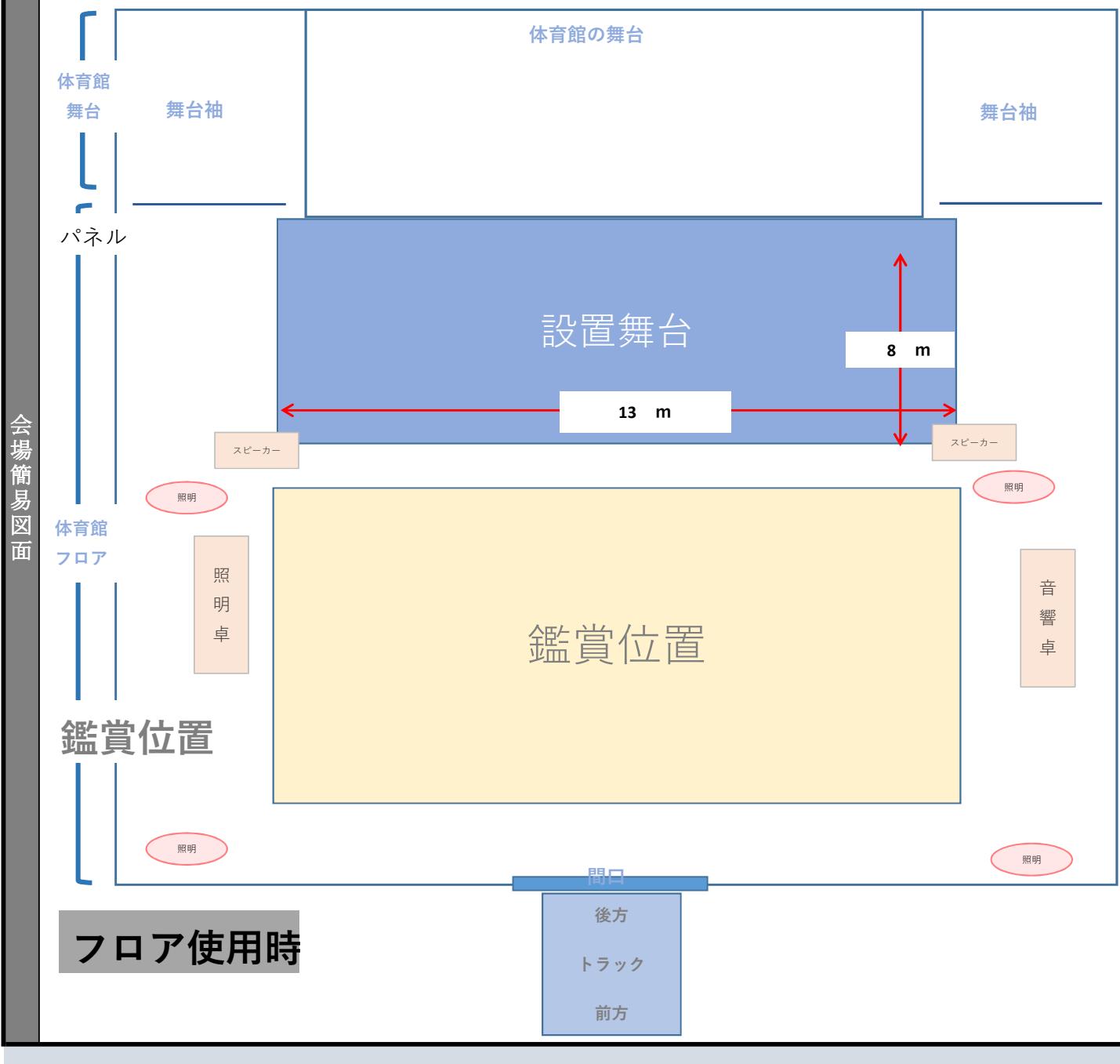
時間外対応	(任意)		万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。		
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。				
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
ワークショップ					
本公演 共演、参加又 は体験対象と なる児童・生 徒	45分程度	開場の1時間前までの時間 帯	共演部分のリハーサル	共演を行う児童の参加が必 須。	
本公演					

個別確認事項	(任意)		上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。		
	個別ヒアリング事項				
	1				
	2				
3					

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】

劇団ショーマンシップ

】

**本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫****【本事業を通じて実現したいこと】**

本作品『ノートルダム物語』は、主人公が「小さな勇気」と「愛」を持つことにより困難を乗り越え、周囲と共に存・調和していく姿を描いた物語である。また、他者と異なる個性を持つ主人公が、積極的な行動を通じて周囲に受け入れられていく過程も描いている。

本作の上演を通じ、現代の児童・生徒が直面する「いじめ」や「不登校」などの問題解決に資し、多様性や協調性を育む契機となることを目的とする。

インターネットやSNSの普及により、人と人が直接会わずに交流することが多い現代において、俳優と観客が同じ空間を共有し創り上げる演劇体験こそが、本事業の趣旨である「将来を担う子どもたちの豊かな感性を育み、芸術鑑賞力を高めること」に合致すると考える。

さらに、初めて舞台芸術を体験する児童・生徒に対しても、その魅力を伝えるべく、『笑い』『涙』『感動』といった舞台芸術の要素を盛り込んだ作品として創作し『演劇が楽しいものである』という鑑賞体験させたい。

**【上記の実現に向けて、実施の工夫】**

ヴィクトル・ユーゴーの『ノートルダム・ド・パリ』を原作にした、本作品ミュージカル『ノートルダム物語』。15世紀のフランスを背景しながらも、原作の持つ力強さはそのままに、原作の不条理な結末を『希望への物語』に脚色し、多彩なエンターテインメントも演出に加え、子供たちに解りやすく、楽しみながら学べ、長く心に刻まれる作品として制作した。音楽は、クラシックから現代音楽まで幅広く精通しており、数多くの舞台音楽を創り続けている山浦弘志を起用し、全校で合唱するシーンでは子供たちに無理のないキーとテンポで、心から楽しめ、大合唱できる楽曲制作を行った。体育館を劇場空間に変えるため高さのある本格的な舞台装置を制作し、ミュージカルに必要なアクタエリアを確保しながら『主人公の住む鐘つき部屋』を中心にスピーディーに演者のマンパワーで転換し場面を変えることも見せ場の一つとした。

公演終了後は、希望があればバックステージツアーも行う。

本年度よりパントマイムのシーンを登場人物たちの心情に合わせた演出にし、作品をプラスアップさせた。

**【学校との連絡調整について】**

学校側の教育課程や年間行事に配慮し、実施校の担当者との打ち合わせを丁寧に行う。特に、学年別の発達段階や特別支援学級の状況に合わせてプログラムを調整できるよう、事前に教材資料やワークショップの概要を提供する。担当教員との連絡は、専任の制作担当が窓口となり、進行スケジュールや準備物の共有を確実に行う。(基本的にには学校側に負担はかけない)ワークショップや公演を実施するにあたって、スムーズな進行と公演告知のため劇中、全校児童・生徒が合唱する楽曲のCD音源と楽譜を配布。舞台設営・撤収・進行管理については安全管理も含めて劇団側で責任を持って実施することを伝え、特に初めて実施する学校には事前に安心出来る情報を共有する。

**【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】**

事前に学校側との打ち合わせを行い、大きな音や光が苦手な児童・生徒への配慮を行う。場合によっては、客席を別途準備したり、リモートでの別室での鑑賞の対応も行う。主に、小学校での公演を想定しているが、中学校での公演ではワークショップの内容、更には本公司の生徒参加シーンなど、年代に合わせた演出に変更する。現代の子ども達が、作品の時代背景などが学べるように、ワークショップでは、脚本家の時代背景の説明、本公司でもオープニングで『狂言回し』的な役どころの『アルセーヌ』が時代背景を説明する。

**【本公司等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】**

本事業終了後も、劇団の公式ホームページやSNSでの質問等を受けることも伝え継続的な学びに繋がるように案内する。更に、アンケートや感想文を依頼し公演終了後の子供たちの気持ちや学校生活の変化などの内容について書いてもらう事も、その後の学びになると考え、当然、劇団も、その意見を参考に、ワークショップや公演作品の質の向上に繋げていく。

**本事業への応募理由等****事業を適切かつ円滑に実施するための工夫**